

相楽郡広域事務組合設立35周年を迎えまして



平成28年8月1日

相楽郡広域事務組合

代表理事 **木村 要**

相楽郡広域事務組合は、昭和56年8月1日に「相楽郡衛生管理組合」、「相楽郡町村事務組合」、「相楽地区広域市町村圏協議会」を統合廃止し、当時の山城町、木津町、加茂町、笠置町、和束町、精華町、南山城村の7町村で組織する複合的一部事務組合として発足し、平成28年8月1日で35周年を迎えました。

この間、市町村合併により平成19年3月に「木津川市」が誕生し、1市3町1村となり、現在では、し尿処理、消費生活センター、休日応急診療所などの事業の充実を図り、地域住民に期待される組合として発展することができました。

これもひとえに、構成市町村をはじめ、組合議会、これまで組合行政発展のためにご尽力をいただきました関係各位そして地域住民の皆様のご理解とご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

組合発足以来35年間培ってきた経験と実績を基礎として、地域住民の安心・安全に対する期待に十分応えられるよう、大谷処理場の長寿命化計画の推進、休日応急診療所の充実など、より一層関係機関との連携を図り、取り組んで参る所存でございます。

このたびの35周年を契機として、皆様のさらなるご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。